

第 7 事業年度（平成 29 年度）事業報告書

（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）

I. 事業の実施状況

1. 奨学金助成事業

当財団は、昭和 52 年 2 月に故檜山純三が私財を投じて設立しました。設立 41 年目を迎えた本年 3 月には第 38 回目の大学奨学生 41 名及び第 33 回目の外国人留学生大学院生 7 名の卒業生を社会に送り出すことが出来ました。下記の当年度採用学生を含めると大学奨学生採用者は累計 2041 名、外国人留学生大学院生は 262 名となりました。

(1) 奨学生募集・選考

当年度も推薦依頼大学 40 大学と設立者出身地の小諸市教育委員会に、当財団の採用基準に従い、学内選考を行ったうえでの推薦をお願いしました。

留学生については、7 大学に大学院生（修士、博士課程）の推薦をお願いしました。

① 学部学生

第 41 回奨学生として 41 名の推薦があり、書類審査の結果 40 名合格しました。

② 私費外国人留学生大学院生

第 34 回外国人大学院留学生として 7 名の推薦がありました。書類選考と面接選考の結果、推薦者 7 名全員が合格したので採用しました。

③ 寄宿舎生（檜山奨学会館）

平成 24 年度より始めた無償貸与の寄宿舎奨学生 5 名（外国人留学生大学院生）の面接を行い、入居希望等を聞き決定しました。（寄宿舎貸与大学は東京大学、上智大学）

(2) 奨学金支給

① 新規奨学生への支給

新規採用された第 41 回学部奨学生 40 名と、第 34 回外国人留学生大学院生に対して、学部生は月額 4 万円、外国人留学生大学院生は月額 12 万円を支給しました。

② 継続奨学生への支給（学部学生 2.3.4 年生・外国人留学生大学院生 2 年目）

継続給与対象学生から提出された書類に基づき審査した結果、第 38 回生 40 名、第 39 回生 38 名、第 40 回生 38 名 合計 116 名に対し継続給付を決定し、学部学生は月額 4 万円を給付、継続の外国人留学生大学院生 7 名に対しては月額 12 万円を給付しました。

③学習奨励金支給

選考委員による継続審査結果に基づき、現役奨学生の成績優秀者7名・博士号
得者1名及び卒業時に大学からの表彰を受けた者1名に奨励金を支給しました。
この結果、新規奨学生、継続奨学生への奨学金総支給額と学習奨励金の合計は
94,073千円となりました。

(3) 交流活動

①2年生研修会合

平成29年4月22日～4月23日 旅行先：山梨県 河口湖
出席者：2年目の学部奨学生36名 榎山奨学会館に集合しバスで移動。
テーマに沿ってのグループディスカッションのほか、山梨県立リニア見学センター
・日本盲導犬協会盲導犬の里富士ハーネスを見学しました。

②新入生歓迎オリエンテーション

平成29年6月25日(日) 開催場所：榎山奨学会館 出席者：新入生全員
財団設立者の経歴、設立の趣旨及び財団の歩み、奨学金給与規程の説明等をし
ました。

③第26回 留学生会合

平成29年8月27日(日)～8月29日(火) 旅行先：北海道阿寒湖～釧路方面
アイヌコタン、摩周湖、釧路湿原、日本製紙釧路工場、北海道新聞総合印刷釧路工
場等見学しました。
参加者：中国、韓国、モンゴル、台湾からの留学生男性10名、女性16名

④第41回 全国会合

平成29年10月22日(日) 開催場所：日本青年館ホテル(外苑前)
リニューアルオープンした日本青年館ホテルに3年ぶりに戻っての開催となりま
した。日帰り開催でした。
出席者：1年生38名、2年生35名、3年生25名、4年生32名、留学生16名
全国の榎山奨学生が集う年一度の会合で当財団役員・選考委員・大学関係者等との
懇親をはかりました。
事前に学生企画会議を開き行事内容等を決めています。この全国会合席上で継続
審査結果の現役奨学生成績優秀者7名に奨励金を贈呈し、表彰しました。

⑤卒業を祝う会

平成30年3月4日(日) 開催場所：榎山奨学会館 出席者：当財団を終了
する4年生30名、留学生2年目5名、宿舎生2名に選考委員・評議員よりお祝い
の言葉をいただきました。理事長が最後の奨学金と記念品を手渡しました。

⑥OB・OG会

卒業後も年代や国の垣根を越えて末永い交流が続くようにと願い、家族ぐるみの
参加を募っております。

第31回関西OB・OG会 平成29年11月4日(土)開催場所:ホテル阪急インターナショナル出席者:OB・OG、大学関係者、財団役員、現役奨学生等約70名

第31回関東OB・OG会 平成30年1月27日(土)開催場所:檜山奨学会館出席者:OB・OG、現役奨学生等約90名

(4)会報

当財団の会報誌「かしの芽」を年2回(第82号、第83号)発行しました。

2. 檜山純三賞事業

(1)表彰事業

財団設立30周年を記念して設立しました社会科学分野の現代アジア研究の著書の表彰で、6名の選考委員による檜山純三賞選考委員会で決定します。

第12回檜山純三賞表彰 平成29年11月9日(木) 開催場所:ホテルニューオータニ
学術書賞 『中国の誕生東アジアの近代外交と国家形成』

岡本 隆司 著 出版社 名古屋大学出版会

一般書賞 『中国政治からみた日中関係』

国分 良成 著 出版社 岩波書店

(2)セミナー助成事業

現代アジア研究者による学問的に水準の高い研究会・シンポジウムに対して「檜山セミナー」として資金助成をする事業を前年度から始めました。

第2回 開催申請者:園田茂人 東京大学教授(一般財団法人アジア政経学会)

開催日時:平成29年6月25日(日)13時~16時

開催場所:一橋大学

テーマ:データアーカイブとアジア研究

II. 財産の状況

(1) 基本財産について

基本財産は株式会社オンワードホールディングス株式8,710,970株を主とし、定期預金並びに世田谷区代沢所在の土地1,652.89㎡です。

本年度は基本財産である株式会社オンワードホールディングス株式の配当が1株につき24円でした。

(2) 特定資産について

公益目的保有財産、管理用財産、資産取得資金、特定費用準備資金及び引当資産として積み立てています。正味財産増減計算書内訳表において、公益目的保有財産、資産取得資金、特定費用準備資金として積み立てている金融資産の運用益は公益目的事業会計に、管理用財産及び引当資産として積み立てている金融資産の運用益は法人会計に掲載しています。

現在の積立金額は財産目録記載の通りです。

当期支出は事業費、管理費とも予算内の支出となっています。

以上の結果、正味財産期末残高は114億92百万円となっています。

III 管理運営の状況

役員会等に関する事項（理事会、評議員会）

① 第17回理事会（決議の省略）

理事会の決議があったものとみなされた日：平成29年5月23日（火）

理事の同意書：理事6名、異議のない旨の書面：監事2名

審議事項の内容

- ・平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業報告及び計算書類の承認の件
- ・理事・監事の改選の件
- ・評議員2名増員の件
- ・選考委員の改選の件

② 第10回定時評議員会

開催日：平成29年6月8日（木）

出席者：評議員8名、理事6名、監事2名

審議事項の内容

- ・平成28年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）事業報告及び計算書類の承認の件
- ・理事・監事の改選の件
- ・評議員2名増員の件

③ 第18回理事会

開催日：平成29年6月8日（木）

出席者：理事6名、監事2名

審議事項の内容

- ・代表理事選定の件

④ 第19回理事会

開催日：平成30年3月9日（金）

出席者：理事6名、監事1名

審議事項の内容

- ・平成30年度事業計画及び同年度収支予算の承認の件
- ・監事石川利男氏辞任のための後任監事候補者選任の件
- ・理事1名増員のための候補者選任の件
- ・臨時評議員会の開催の件（決議の省略）

- ・会館修繕積立資金の予定額変更の件
- ・株主権の行使の件
- ・代表理事（理事長）の給与額変更の件

⑤ 平成 29 年度臨時評議員会（決議の省略）

評議員会の決議があったものとみなされた日：平成 30 年 3 月 14 日（水）

評議員の同意書：評議員総数 12 名

審議事項の内容

- ・監事選任の件
- ・理事 1 名選任の件
- ・会館修繕積立資金の積立予定額及び取り崩し予定額の変更承認の件